

# 久斗山地区公民館だより



令和元年  
11月号

28日発行

久斗山地区公民館

## ご挨拶

今年も残すところ、あと1ヶ月少々となりました。秋もすっかり深まり、高い山では雪の便りが聞かれるようになりました。今シーズンも暖冬との予想もありますが、雪の具合はどうでしょうか？野山の動物達は厳しい冬に備えて活動が盛んになり、民家の近くの柿の木にクマが食べに来たというニュースもあります。雪囲いや野菜の収穫、車のタイヤを冬用に交換したりと忙しい時期ですが、皆さん風邪などひかないよう気をつけましょう。

## 【今年は豊作？ さつまいもの収穫体験開催】

昨年はイノシシに襲われましたが、今年はしっかりと柵をしたので、被害を免れました。10月22日の祭日、公民館近くの畑で、サツマイモの収穫体験が開催されました。地区内の親子と、地区外からも参加があり、17人(大人9人・子ども8人)の参加がありました。

当日は、朝は曇っていたけど、いい天気になりました。受付の時にくじを引いて、番号によって掘る株(1回3株)が決まります。いい株に当たれば大きな芋がついていて大収穫！はずれは芋が小さかったり、ネズミが齧っていたり…開催の挨拶もそこそこに、待ちかねていた大人も子どもも、自分の引いた番号に行き、ツルを引っ張ったり土をかき分けて芋を掘り始めました。大きな芋が出てくるたびに、あちこちで歓声が沸きました。

掘った芋は土を洗い、濡れた新聞紙とアルミホイルに包んで焚火に入れ、焼き芋にしました。焼き上がった芋は甘くて美味しく、お昼前でお腹もすいた子ども達は熱々を頬張っていました。



親子で一緒に頑張ってます。



こんな大きな芋が掘れたよ。



掘った芋の一部は焚火で焼き芋にしました。熱いから、ふーふーしながらかぶりつく。



## 【11月は毎週イベントが開催 久斗山農産加工組合大忙し】

11月の週末は、毎週どこかでイベントが開催されました。久斗山農産加工組合には、出店や枳餅などの多くの注文が殺到し、村人が応援に手伝ったりして大忙しでした。

### 【但馬まるごと感動市】

11月9日(土)～10日(日)・但馬ドーム

2日間にわたって豊岡市日高町の但馬ドームで開催された感動市。

食のコーナー50点以上、その他の店を含めると100店以上の出店があり、今年は天候にも恵まれ、のべ10万人近い入場者があり大盛況でした。加工組合も食のブースで特産物を販売しました。

### 【山陰近畿自動車道浜坂道路Ⅱ期 起工式】

11月10日(日)・浜坂北小学校 味道館

浜坂道路の西へ延びるⅡ期工事の起工式が開催され、総勢約160の盛大な式典となりました。久斗山の枳餅が出席者全員に配布されました。

### 【第32回浜坂みなとカニ祭り】

11月16日(土)・浜坂漁港

天候にも恵まれ、開会当初から多くの来場者がありました。午前9時すぎには1回目として1000個の餅まきが行われました。

感動市は10日(日)が一番大賑わい



浜坂道路Ⅱ期起工式の様子。



カニ祭りで販売してる組合のおっちゃん、おばちゃん



**【小春日和の下で久斗山青推協行事】**

今年は、11月も比較的暖かい日があります。17日は小春日和の暖かい日曜でした。久斗山青年推進協議会の行事が、午前10時よりおおすぎの広場で開催されました。参加者は子ども9名、大人7名でした。炭を熾して、鉄板の上でお肉や野菜を焼き、焼きそばや焼き芋もしました。みんなお腹いっぱい食べて、ビンゴゲームやジャンケンゲームなどをして楽しい一日を過ごしました。



焼き上がったばかりの焼きそばは美味しい！



ビンゴゲームの景品を持って記念撮影

**【田村保さん、自治表彰おめでとうございます】**

長年（13年間）、境の区長を、勤められた田村保さんが、この度兵庫県自治表彰を授与されました。地域の活性化に貢献された、田村さん、お疲れさまでした。そしておめでとうございます。



14日、和田山のジュピターホールの表彰式で（日本海新聞より）

**【クマに注意！各地で相次いで出没！！】**

今月になって、各地で相次いでツキノワグマが出没しており、町内で人が襲われる事故も発生しています。久斗山では、宮の前や田中住で民家近くの柿の木に登って実を食べており、境では、罾にかかったクマが殺処分されました。みなさん、夜間に出歩く時は、特に気をつけて！



クマが二晩続けて実を食べた柿木と、その幹についた爪痕（矢印）

**○ 12月の行事**

- 1日(日) 冬の城山ハイキング(午前9:00~12:00 ジオsen.s)
- 8日(日) 正月の寄せ植え(上山高原エコミュージアム)
- 16日(土) 子ども自然教室「冬の里山生き物観察会」(午前9:00~11:00 久斗山地区公民館)
- 31日(火) 大晦日



ジオsen.s(センチンス)の行事

**「リース作り」**

この冬は、新温泉町で遊ぶ尽くそう！  
○開催日:12月7日(土)  
○場所:浜坂先人記念館「以命亭」

**【内容】**

近隣の植物で素敵なリースを作ろう！

- ・1回目 10:00~11:00
- ・2回目 13:00~14:00

午前・午後の2回行います。各回5人ずつ

リース1個の作成費800円(材料費)

・指導:ブルーグリッター

**【問い合わせ・申込み】**

giosen.s.tankyu@gmail.com  
090-3688-4200 (担当:松岡)



秋に実を飛ばした後の鞘が神輿に似ている(上は花)。

**今月の野草**  
ゲンノシヨウコ

草むらや道端で、茎が地面を這うように延び、夏場にかわいい白い花(たまに赤紫)をつけます。薬草として、「現実によく効く証」が名前の由来です。昔、久斗山小学校では夏休みの野草採集で、ドクダミと一緒に集めていました。秋に種を飛ばした姿が、祭りの神輿のように見えるので、神輿草(ミコシグサ)とも呼ばれます。

**かってに昔話**  
大ヒノキの声(第二話)

作、いつこう

久斗山の杉神社の大杉、その幹に開いた穴の中で眠ってしまつた玄太は夢の中で大杉に話しかけられたのです。「おっ、わあ、しのはあらのなかでね、とるんはあ、かあらのやあまもとのいえにひろわあれ、げんたか、げんたか、それはまるでそよ風が木の葉を揺らすような優しい声で、とてもゆっくりとした話かたでした。ほんの短い時間でしたが、玄太にとって、それは不思議な体験でした。目が覚めても、それが夢だったか現実だったか・・・でも、気分はとても清々しく、疲れもとれて元気が湧いてきました。それから後も、玄太は親戚の家で働き使われ、毎日の農作業は辛いものでしたが、わずかな休憩時間にも大杉の幹の穴の中に入る楽しみができました。ゆっくり、ゆったりとした気持ちでいると、いつしか大杉の声が聞こえてくるのでした。そうして大杉から聞いた話によれば、樹も同じ生きものだから、鳥や山に住むクマやシカ、時には人間とも話ができるそうです。でも、樹と動物とは生きている時間の速さが違うので、動物が樹と同じぐらいい、ゆったり、ゆったりしてくれないと、話ができないそうです。さらに樹は一度根を下した動けないけど、大地を通して世界中の樹とつながっていて、世界のことを知っています。だから、白神の山のブナから聞いたマタギの猟師の話も、沖繩の山原の森に棲む飛べない鳥の話も、玄太はとてもしっかり聞いています。(つづく)